

## 令和6年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事（高槻市総合戦略部アセットマネジメント推進室）小川 公子

去る令和7年2月5日、令和6年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会を、泉州地域FM連絡協議会及び貝塚市職員研修会と合同で開催し、地域会会員から30名のご参加をいただきました。

今回は講師に岡山県津山市総務部財産活用課 課長 川口義洋氏をお迎えし、「公民連携による公共施設の価値向上」と題してご講演いただきました。

川口様からは、課題解決のための小規模な連携や、スモールコンセッションの事例についてご紹介いただきました。

公共施設における課題を解決するためにどうするのかというきっかけ、民間事業者の意向に沿って、動きやすい環境を整える「クリエイティブな発注」が重要であることなどをお話いただきました。

いずれも、川口様が試行錯誤しながら取り組まれた事業であり、非常に具体的にお教えいただいたため、わかりやすく印象に残るキーワードを多くいただきました。

中でも「振らないバットにボールはあたらぬ」、「小さくても実践に勝るものはない」とお教えいただきました。これからは、経営という観点から、実績のない手法を試していくしかありません。失敗を恐れず、やってみることを実践しようと思いました。



後半は、川口様のほか、貝塚市、泉南市、高槻市と、建築保全センターから植木審議役にご登壇いただき、公民連携の実績や、今後増加が想定される廃校や空き施設等の遊休不動産の活用についてパネルディスカッションを行いました。

各市における実績は多くはありませんが、具体的な事例などを提示していただいたことで、参考となりました。

最後に、建築保全センターからは、どのような支援を行っていただけるのかもご紹介いただきました。

アンケート結果によると、具体的な事例を生言葉で聞くことができ参考になったというご意見などをいただきました。また、このようなリアルな情報交換の場については、よかったという感想をいただいております、引き続き、地域会の開催を継続できればと思います。

最後になりますが、ご講演いただいた津山市財産活用課長の川口様、ご参加いただいた方々、ご支援いただいた（一財）建築保全センターの関係者の方々にお礼申し上げます。